

楢葉遠隔技術開発センターの開所

平成27年10月29日

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

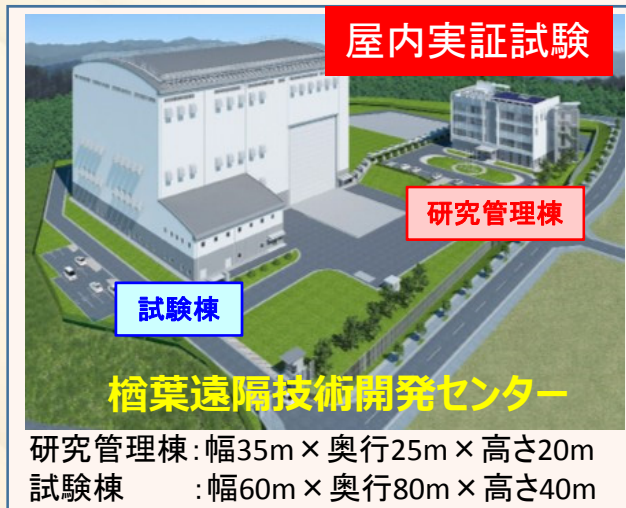
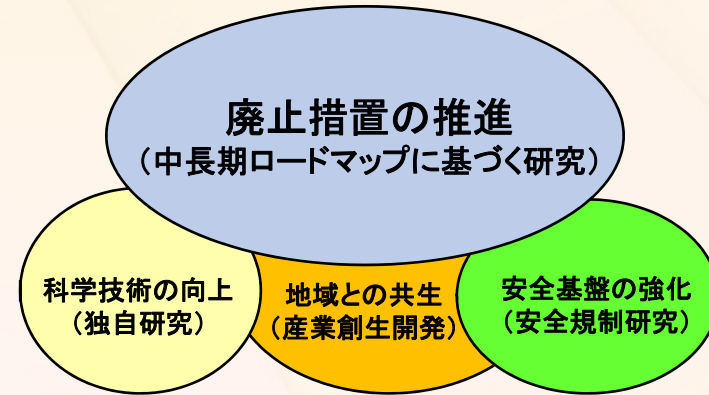


研究拠点整備の全体概要

1F廃止措置推進に必要な不可欠な遠隔操作機器や放射性物質の分析・研究等に関する技術基盤の確立するため、福島県内に研究拠点を整備。

- 遠隔操作機器・装置の開発・実証試験施設
(**楢葉遠隔技術開発センター**)
2015年9月24日から一部運用を開始。
- 放射性物質の分析・研究施設
(**大熊分析・研究センター**)
2014年度から詳細設計開始。

新規整備施設の役割



項目	年度	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (H32)	2021 (H33)	2022 (H34)	2023 (H35)
楢葉遠隔技術開発センター	設計											
	建設※											
大熊分析・研究センター	運用											
	施設管理棟											
	設計・建設											
	運用											
第1棟	設計・建設											
	運用※※											
第2棟	設計・建設											
	運用※※											

※研究管理棟が完成し、10月に開所式を迎えたが、試験棟は建設中。
※※運用開始時期については、認可申請等も含めて精査中。

開所式

日時: 2015年10月19日(月) 12時30分～12時50分
場所: 福島県双葉郡楡葉町大字山田岡字仲丸1番22
楡葉遠隔技術開発センター(楡葉南工業団地内)
参加者: 105名



研究管理棟



試験棟(建設中)

楡葉遠隔技術開発センター



安倍内閣総理大臣ご祝辞



除幕式

【除幕式にご参加いただいた方々】

- ・安倍内閣総理大臣
- ・内堀福島県知事
- ・松本楡葉町長
- ・馳文部科学大臣
- ・高木復興大臣
- ・高木経済産業副大臣
- ・若松復興副大臣
- ・井上環境副大臣
- ・県立ふたば未来学園生徒
- ・町立あおぞらこども園園児



開所式後のロボットデモンストレーション

(国立福島工業高等専門学校学生さんが操作)

開所式後に施設の内覧を実施



試験棟工事状況(遠景)視察



サソリ型ロボットデモンストレーション



バーチャルリアリティ概要説明・
デモンストレーション



標準試験場概要説明

今後の予定

○試験棟整備

- ・遠隔操作機器用の試験設備(水槽、モックアップ階段、
モーションキャプチャーの据付など)

○技術研究組合・国際廃炉研究開発機構(IRID)事業

- ・原子炉格納容器(PCV)下部漏えい箇所の補修・止水技術の
実規模試験体の組立て

○施設利用(利用公募、試験運用)

- ・本年11月:平成28年度の利用申込受付を実施
 - ・来年 5月頃:平成28年度下期の利用申込受付を実施予定
- ※平成28年1月から3月までを試験運用期間とし、本年11月頃公募予定。

○専門家会合の開催(公開)

- ・標準試験法に関する国際ワークショップ(11月6日, 11月7日)
- ・原子力緊急時遠隔機材に関する国際ワークショップ(12月2日, 12月3日)